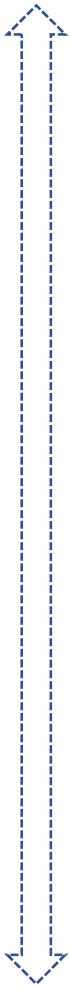


理科 学習指導案

学年	1年	教科	理科	指導者	栗谷 真人
単元名	大地の変化 地震				
題目	地震の災害			時数	4/4
本時のねらい	緊急地震速報の仕組みを、地震の伝わり方や揺れ方の規則性と関連付ける活動を通して、興味・関心を持ち主体的に関わろうとさせる。				
学習指導要領における領域・内容	2分野 地学				
本時の評価規準 (評価の観点) <評価方法>	地震災害に関する具体的な事例や、警報などの災害から身を守る仕組みについて関わろうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) <プリント>				
展開	学習活動	指導と手立て			
<p>【めあて】</p>  <p>【振り返り】</p>	導入	1. めあてをつかむ。	○実際の地震の映像を見せ、直前に緊急地震速報がなっていることを確認させる。		
	展開	2. 復習する	○これまでに学習した内容を思い出させる。 ・地震が同心円状に広がること、地震にはS波とP波があることを思い出す。		
		3. 予想	○これまで学習した内容から、緊急地震速報の仕組みを予想させる。		
		4. 班で共有し、発表する	○班内で個人の予想を交流した後、班の予想ホワイトボードに書き予想を交流させる。		
	5. 緊急地震速報の仕組みを体験する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>～緊急地震速報 ゲーム～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒は全員伏せる。 ・教師がランダムに1人の肩をたたく。 ・たたかれた生徒は起き上がり前後左右の生徒の肩をたたく。 ・事前に決めておいたアラーム役は、自分が肩をたたかれたら「地震がきたぞ～」と叫ぶ。 ・その際まだ伏せている生徒は起き上がり、肩をたたかれるのを防ぐことができる。 </div>			
	終末	6. 緊急地震速報の仕組みをまとめる。	○緊急地震速報ゲームを通して、どの班の予想が近かったかを振り返る。 ・緊急地震速報の仕組みを教科書P波があることをP223で確認する。		
5. 本時の振り返りを行う。		・本時の学習内容と、地震が来た時の行動について考え振り返りに書く。			
6. 進出単語を確認する。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【振り返り】地震が発生してから、緊急地震速報がでることがわかったので、出たときはすぐに行動したい。</p> </div>			・沈降・隆起・液状化について、学習する。	